

SP+トラスツズマブ療法 を受けられる患者様へ

SP+トラスツズマブ療法について

この治療は、ティーエスワン(S)、シスプラチン(P)、トラスツズマブという3種類の抗がん剤を用いて行う治療です。ティーエスワンとシスプラチンはがん細胞のDNAの合成を阻害して、がん細胞の増殖を抑える抗がん剤です。トラスツズマブとは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

投与スケジュール今日 (/) は サイクル 日目

1日目にシスプラチン、トラスツズマブを投与します。
1日目の夕から15日目の朝(14日間)にティーエスワンを服用します。
21日間を一区切り(1コース)とします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16-21
注射薬																
経口薬・朝																
経口薬・夕																

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

生理食塩液
カリウム、マグネシウム

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

デキサメタゾン
プロイメンド
グラニセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

トラスツズマブ (mg)

抗がん剤です。
初回は90分、2回目以降は
30分かけて投与します。

シスプラチン (mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

細胞外液、フロセミド

利尿剤です。
腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

細胞外液

腎臓への障害を予防します。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
しゃっくり
便秘 倦怠感

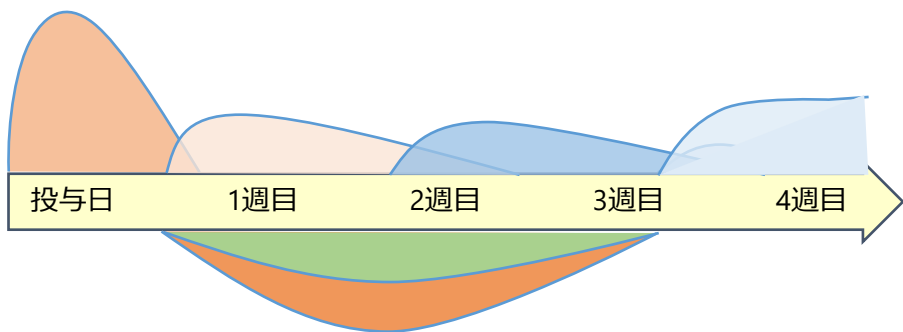
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢
発疹

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 色素沈着
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかりと行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

副作用について (2)

点滴による反応

点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。初回に現れることが多いです。熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。必要に応じて心臓の検査をしますので、点滴中に限らず、いつもと違うことや気になることがあった場合は、遠慮なく申し出てください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			
			

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部

川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181